

(Drug Information News)
No. 471
2025年8月号

徳山医師会病院 薬局

TEL: 0834-31-7716
FAX: 0834-32-5349
e-mail: yaku2@tokuyamaishikai.com

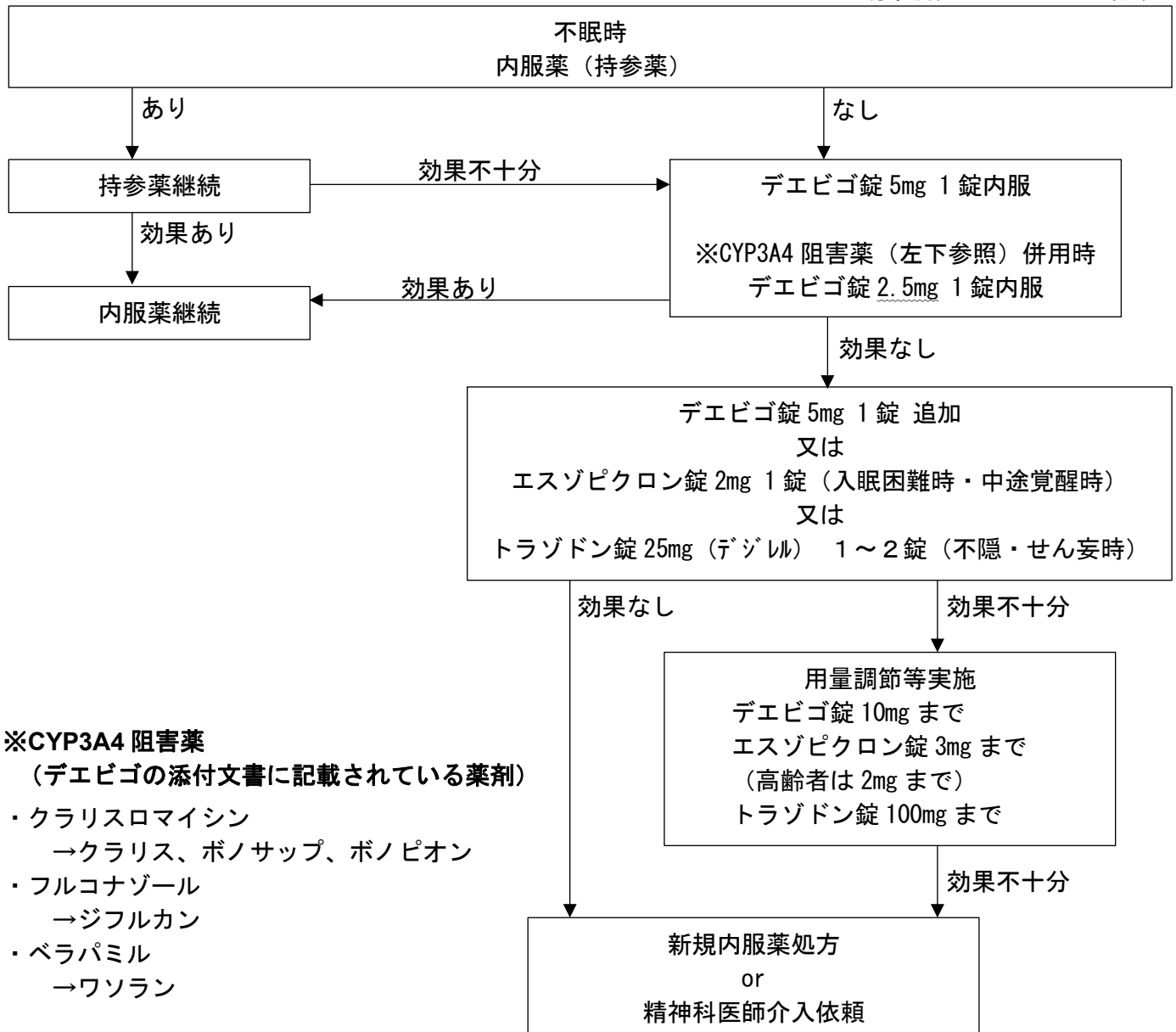
薬局ウェブサイト http://hospital.tokuyamaishikai.com/introduce_list/ より「薬局」をクリック

1. 不眠時プロトコールについて

不眠時の対応プロトコールについての検討を行いました。この度病院運営委員会にて承認をいただきましたので紹介させていただきます。こちらのプロトコールをご利用の際は、指示票へ「不眠時はプロトコール使用」との記載をお願いいたします。

【不眠時】プロトコール

※効果判定は2～3日で行う



2. 薬事委員会結果報告

7月開催分

●新規採用医薬品

	品 名	薬価	薬効	特徴
内服薬	ラスビック錠 75mg	277.90	ニューキノロン系経口抗菌剤	2つのキノロン標的酵素を同程度に阻害する。よって、既存のキノロン系約に比べて耐性菌を作りにくいことが期待されている。また、腎機能低下例でも用量調節が不要である。

●先発品から後発品への切り替え予定医薬品

	品 名（後発品）	薬価	薬効	同一成分薬品（先発品）	薬価
内服薬	スルピリド錠 50mg 「アメル」	6.60	精神・情動安定剤	ドグマチール錠 50mg	10.40
	フェノフィブラート錠 53.3mg 「武田テバ」	8.80	高脂血症治療剤	リピディル錠 53.3mg	15.10
	トフィソパム錠 50mg 「トーワ」	6.10	自律神経調整剤	グランダキシシ錠 50	8.20
外用薬	ビマトプロスト点眼液 0.03% 「ニット」	148.3/mL	プロスタミド誘導体 緑内障・高眼圧症治療剤	ルミガン点眼 0.03%	485/mL
	クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05% 「イキ」	11.7/g	外用合成副腎皮質ホルモン剤	デルモベート軟膏 0.05% 販売中止（経過措置： 2026年3月予定）	14.6/g

●常備中止医薬品 ※在庫数は7月時点の数です。

	品 名	在庫数	薬 効	理 由	当院採用同種同効薬
内服薬	メナテトレノンカプセル 15mg	105	骨粗鬆症治療用ビタミン K2 剤	使用が少ないため 販売中止	なし
	テオフィリン徐放ドライシロップ小児用 20%	0	キサンチン系気管支拡張剤	使用が少ないため 期限切れ	テオドール錠 100mg、200mg
注射薬	リドカイン注 0.5%	2V	局所麻酔剤	使用が少ないため	リドカイン注 1%
	サンリズム注射液 50	0	不整脈治療剤	期限切れ	なし
外用薬	キンダベート軟膏 0.05%	16 本	外用合成副腎皮質ホルモン剤	販売中止	ロコイドクリーム

<その他>

- ・ミノドロン酸錠 50mg は「YD」が入手困難のため「サワイ」へ変更となります
- ・エチゾラム錠 0.5mg は「アメル」が出荷調整のため「サワイ」へ変更となります。

3. Q&A コーナー

7月分

★抗てんかん剤を切り替える場合、数日重複服用をさせるのか？

抗てんかん剤を第一選択薬から第二選択薬へ切り替える際の方法として、第一選択薬を継続投与したまま第二選択薬を少量から加え、副作用などの発現が無いことを確認してから第一選択薬を減らしていく方法となる。

★ニフレック®を授乳婦へ使用可能か？

成分の体内への吸収はほぼ無いことから、乳汁への影響は少ないと考えられる。
服用のリスクとベネフィット及び母乳育児の必要性などを考慮して医師の判断となる。

★蒸留水を保温庫（38～40℃程度）で保存して良いか？

製剤として高圧蒸気滅菌を行っていることから 40℃程度の加温でバッグなどが変性することは無いと考えられる。また、内容が水なので成分が壊れる恐れはないと考える。ただし、実際に加温の状態で安定性試験などは行われていないことから、安全性を断言することはできない。
一般的に輸液を保温する場合、長くても 2 週間程度までとするのが良い。

4. 新規収載医薬品

2025年7月16日、8月14日

●内服薬

バルバーサ錠 3mg、4mg、5mg	
製造・販売	ヤンセンファーマ
分類	その他の腫瘍用薬
成分名	エルダフィチニブ
薬価	3mg：31,810.40 円 4mg：41,501.70 円 5mg：51,009.70 円
効能・効果	がん化学療法後に増悪した <i>FGFR3</i> 遺伝子変異又は融合遺伝子を有する根治切除不能な尿路上皮癌
用法・用量	通常、成人にはエルダフィチニブとして 1 日 1 回 8mg を 2 週間経口投与し、それ以降は 1 日 1 回 9mg を経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。
ベルスピディ錠 2mg	
製造・販売	ファイザー
分類	その他の消化器官用薬
成分名	エトラシモドL-アルギニン
薬価	4,792.80 円
効能・効果	中等症から重症の潰瘍性大腸炎の治療（既存治療で効果不十分な場合に限る）
用法・用量	通常、成人にはエトラシモドとして 2mg を 1 日 1 回経口投与する。
リアルダ錠 600mg	
製造・販売	持田製薬
分類	その他の消化器官用薬
成分名	メサラジン
薬価	96.10 円
効能・効果	潰瘍性大腸炎（重症を除く）
用法・用量	通常、成人にはメサラジンとして 1 日 1 回 2,400mg を食後経口投与する。活動期は、通常、成人にはメサラジンとして 1 日 1 回 4,800mg を食後経口投与するが、患者の状態により適宜減量する。 通常、体重 23kg 超の小児にはメサラジンとして 1 日 1 回 40mg/kg を食後経口投与するが、2,400mg を上限とする。活動期は、通常、体重 23kg 超の小児にはメサラジンとして 1 日 1 回 80mg/kg を食後経口投与するが、4,800mg を上限とし、患者の状態により適宜減量する。

ウェリレグ錠 40mg	
製造・販売	MSD
分 類	その他の腫瘍用薬
成分名	ベルズチファン
薬価	21,916.80 円
効能・効果	・フォン・ヒッペル・リンドウ病関連腫瘍 ・がん化学療法後に増悪した根治切除不能又は転移性の腎細胞癌
用法・用量	通常、成人には、ベルズチファンとして、1 日 1 回 120mg を経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。
オプゾルダカフセル 65mg	
製造・販売	アミカス・セラピューティクス
分 類	他に分類されない代謝性医薬品
成分名	ミグルスタット
薬価	6,038.20 円
効能・効果	遅発型ポンペ病に対するシパグルコシダーゼ アルファ（遺伝子組換え）との併用療法
用法・用量	シパグルコシダーゼ アルファ（遺伝子組換え）との併用において、通常、成人にはミグルスタットとして体重 40kg 以上 50kg 未満の場合は 1 回 195mg、体重 50kg 以上の場合は 1 回 260mg を隔週経口投与する。なお、食事の前後 2 時間は投与を避けること。

●注射薬

アネレム静注用 20mg	
製造・販売	ムンディファーマ
分 類	全身麻酔薬
成分名	レミマゾラムベシル酸塩
薬価	1,540 円
効能・効果	・全身麻酔の導入及び維持 ・消化器内視鏡診療時の鎮静
用法・用量	〈全身麻酔の導入及び維持〉 〈導入〉 通常、成人には、レミマゾラムとして 12mg/kg/時の速度で、患者の全身状態を観察しながら、意識消失が得られるまで静脈内へ持続注入する。なお、患者の年齢、状態に応じて投与速度を適宜減速すること。 〈維持〉 通常、成人には、レミマゾラムとして 1mg/kg/時の速度で静脈内への持続注入を開始し、適切な麻酔深度が維持できるよう患者の全身状態を観察しながら、投与速度を適宜調節するが、上限は 2mg/kg/時とする。なお、患者の年齢、状態に応じて投与開始速度を適宜減速すること。覚醒徴候が認められた場合は、最大 0.2mg/kg を静脈内投与してもよい。 〈消化器内視鏡診療時の鎮静〉 通常、成人には、レミマゾラムとして 3mg を、15 秒以上かけて静脈内投与する。効果が不十分な場合は、少なくとも 2 分以上の間隔を空けて、1mg ずつ 15 秒以上かけて静脈内投与する。なお、患者の年齢、体重等を考慮し、適切な鎮静深度が得られるよう、投与量を適宜減量する。
エアウィン皮下注用 45mg、60mg	
製造・販売	MSD
分 類	その他の循環器官用薬

成分名	ソタテルセプト（遺伝子組換え）
薬価	45mg：1,082,630 円 60mg：1,441,677 円
効能・効果	肺動脈性肺高血圧症
用法・用量	通常、成人にはソタテルセプト（遺伝子組換え）として初回に 0.3mg/kg を投与し、2 回目以降は 0.7mg/kg に増量し、3 週間ごとに皮下投与する。
ボムビリティ点滴静注用 105mg	
製造・販売	アミカス・セラピューティクス
分 類	酵素製剤
成分名	シパグルコシダーゼ アルファ（遺伝子組換え）
薬価	204,251 円
効能・効果	遅発型ポンペ病に対するミグルスタットとの併用療法
用法・用量	ミグルスタットとの併用において、通常、体重 40kg 以上の成人にはシパグルコシダーゼ アルファ（遺伝子組換え）として、1 回体重 1kg あたり 20mg を隔週点滴静脈内投与する。
タービー皮下注 3mg、40mg	
製造・販売	ヤンセンファーマ
分 類	その他の腫瘍用薬
成分名	トアルクエタマブ（遺伝子組換え）
薬価	3mg：146,284 円 40mg：1,879,962 円
効能・効果	再発又は難治性の多発性骨髄腫（標準的な治療が困難な場合に限る）
用法・用量	通常、成人にはトアルクエタマブ（遺伝子組換え）として、以下の A 法又は B 法で投与する。 A 法：漸増期は、1 日目に 0.01mg/kg、その後は 2～4 日の間隔で 0.06mg/kg、0.4mg/kg の順に皮下投与する。その後の継続投与期は、0.4mg/kg を 1 週間間隔で皮下投与する。 B 法：漸増期は、1 日目に 0.01mg/kg、その後は 2～4 日の間隔で 0.06mg/kg、0.4mg/kg、0.8mg/kg の順に皮下投与する。その後の継続投与期は、0.8mg/kg を 2 週間間隔で皮下投与する。

5. 添付文書の改訂

※添付文書記載内容の改定に伴う改訂に関しては省略致します。

○ブロナンセリン錠（住友ファーマ）の【用法及び用量】効能又は効果に関連する注意、用法及び用量に関連する注意に追記がありました。（下線部_____追記箇所）

5. 効能又は効果に関連する注意

_____ 本剤は、還俗として 12 歳以上の患者に使用すること

6. 用法及び用量

成人用量変更無し 省略

_____ 通常、小児にはブロナンセリンとして 1 回 2mg、1 日 2 回食後経口投与より開始し、徐々に増量する。維持量として 1 日 8～16mg を 2 回に分けて食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1 日量は 16mg を超えないこと。

7. 用法及び用量に関連する注意

7.1 小児において増量する場合には、1 週間以上の間隔をあけて行うこと。1 週間未満で増量した場合の安全性は確立していない（使用経験が少ない）

7.2 成人において、ブロナンセリン経皮吸収型製剤から本剤へ切り替える場合には…（以下省略）

6. 医薬品安全対策情報

Drug Safety Update No. 338 (2025. 8) 添付文書の改訂
★最重要と☆重要のうち、当院採用薬（臨時採用も含む）のみを記載

☆セマグルチド（遺伝子組換え）（オゼンピック[®]皮下注／ノボノルディスクファーマ）

[9. 1. 合併症・既往歴等のある患者]	追記	腹部手術の既往又はイレウスの既往のある患者： <u>腸閉塞を含むイレウスを起こすおそれがある。</u>
[11. 1 重大な副作用]	追記	イレウス： <u>腸閉塞を含むイレウスを起こすおそれがある。高度の便秘、腹部膨満、持続する腹痛、嘔吐等の異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。</u>

7. 医療安全情報

●日本医療機能評価機構の「企業からの適正使用等に関するお知らせ」に以下の文書が掲載されました。

- ・レミフェンタニル塩酸塩の適正使用に関するお知らせ

※詳しい内容は日本医療機能評価機構のWebサイト

(<https://www.pmda.go.jp/files/000276239.pdf>) を参照してください。

- ・GLP-1 受容体作動薬及びGIP/GLP-1受容体作動薬の適正使用に関するお知らせ

※詳しい内容は日本医療機能評価機構のWebサイト

(<https://www.pmda.go.jp/files/000276563.pdf>) を参照してください。